

一般貨物自動車運送業における建築物、構築物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	17～18	荷物の集配中、配達を終えトラックに戻ろうとしたところ、道路の段差に気付かず転倒し、右足首をひねり、靭帯損傷を負った。	23～49	30
1	23～24	貨物の積込作業中、高床ホームから手をついて下に降りようとしたとき、足が滑って落下した。	59～49	30
1	9～10	宅急便の配達に伺った際に、玄関スロープが昨夜からの降雪によって凍結していることに気付かず、足を滑らせ転倒しそうになり、右手を伸ばしたところに玄関のガラス戸があり、ガラスが割れたことによりガラスの破片が手のひらにささり、切創するに至った。	34～99	50
1	15～16	当社構内で、現在設置しているパレットラック（重量ラック2段組み）を解体せずに、板台車に載せ設置場所まで動かした。設置場所でラックを載せた板台車を抜こうとした際、パレットラックのバランスが崩れ最上部の鉄骨が外れ、ラックを持っていた当人の後頭部に当たり負傷した。	41～499	300
1	0～1	製品を荷台に積み込む作業中に、第三者が被災者の額まで降ろしていたのに気づかず、荷台から出ようとしたが、シャッターが下りていることに気が付かず、頭部を打撲した。	36～29	10
1	8～9	工場内にて荷下ろし作業中に、トラックの荷台から下りた際に、車止めの上に着地した為、足を骨折してしまった。	59	—
				30

1	8~9	配達の際、駐車場の溝に右足が挟まり、付け根と小指を骨折した。	33	~ 49
1	7~8	出勤し、生コンを積み込む為運転手控室で待機中、自販機でコーヒーを買う為、運転手控室から食堂へ出向いた。缶コーヒーを手に持ち、三人の乗務員の最後尾で食堂を出たが急いでいたため、ドアを閉めずに開けたまま回り込んで通路へ出ようとした。通過するには狭く、右手に缶コーヒーを持っていたので、体のバランスをくずし、高さ94cmの通路より転落し、頭と手足を打ち負傷した。	49	—
1	5~6	積込作業を終了し扉を閉めた際、バース上部の扉固定具が落下し、頭部に当たった。社内での取り決めにおいて、倉庫内作業時にはヘルメットか帽子を着用することとなっているが、事故発生時、積込が終了して着用していたヘルメットを車輛ボックス内に仮置きしていたため、本人は着用しておらず、衝撃で頭部を裂傷した（3針縫合）。	40	~ 50 99
1	20~ 21	夜間配達中、お客様の自宅前で路面が雪の影響により少し滑りやすく、右手から転び手をつき薬指を靭帯断線した。	50	—
1	3~4	畜産センターで、積替を終えトイレに行こうと走っていったとき、浄化槽の段差で転んだ。	52	~ 10 29
2	17~18	トラック（2t車）で配送先へ積荷を降ろし会社へ戻り、車輛を車庫に入れ運転台（高さ約1m）から降りた際、転倒してしまい左足を路面に強打し、負傷したものである。	57	~ 30 49
2	19~20	荷物を持ちながら配達先へ向かう途中、道路から用水路に転落し、負傷したものである。（現場は暗く、歩道と勘違いしてしまった。）	48	~ 10 29
2	10~11	納品先のホームに接車後、荷物をおろそうとトラック荷台に乗り込もうとしたところ、トラック後方のあてゴムとホームとの隙間に足を滑らせ右足を取られてしまった。その際足首を捻る状態でホームとの間に挟んでしまい発生してしまった。	51	~ 30 49
		荷物の配達へ行き、車に戻る際、小走りで携帯電話を確認しながら、戻っていたた		30

2	19~20	め、前方不注意により用水路（高さ約0.75m）の中に転落した。頭部、顔面を強く打ったようである。	31	~ 49
2	8~9	倉庫に、1m×0.5mの発泡スチールを配送作業中、2tトラックを倉庫のプラットホームに後部を1m程の距離をとって停車させ、車を降りて、手作業で1.5mの高さのプラットホームに商品を押し上げて作業していた。この日は風が強くて、計量の商品が飛びそうだったので、急いで、プラットホームに手を掛けてよじ登り商品が飛ばない様にしていたところ、突風が吹き、身体のバランスを崩し、プラットホームから地面に落下した。その際、負傷する。	40	—
2	9~10	配達先の駐車場で車両を停車させ、2t車の荷台より飛び降りた際に着地点に車止めのブロックがあり足を踏み外し足首を捻ってしまったものである。	34	10 ~ 29
2	10~11	卸地近くに車を停めて積み替えて搬入をしていた。2回目の積み替えに向かう際に途中に溝があり近くに橋があったが、橋を渡らずに溝を飛び越えようとして失敗し溝に落下した。	18	30 ~ 49
2	13~14	生コン工場現場で伝票をもらう為にトラックから降りた際横にあった側溝に右足が落ち左足を捻って足の甲にひびが入った。	51	10 ~ 29
3	8~9	自社荷台から飲料水4P/Lをフォークリフトで倉庫下屋プラットフォーム（地上高1m位）に納品し、倉庫担当者より商品検品を受けたあと、当該倉庫担当者からの指示で納品した商品最上部にあった3ケース分を別に用意したラック（かご台車）へ移し替えるため積込作業をしていた際、2ケース目に手を掛けたあたりで、雨で濡れたプラットフォーム（端辺り）から商品を持ったまま地面アスファルトへ転落し、肩と頭を打ち負傷した。なお、頭部はヘルメットを着用していたため外傷はない。	57	30 ~ 49
3	20~21	玄関で仏壇を受け取り、振り向いて玄関を出ようとした際に、玄関入口の段差で足首を捻る。	32	30 ~ 49
				30

3	11~12	ビル駐車場にて配送業務中、余配車両荷台より荷物を取り、荷台から降車するとき、車止めに足をとられ足首を捻った。	38	~ 49
3	13~14	集荷先に到着し、隣の畑の用水路に沿って駐車し、トラックの後方観音開きドアを開き右側ドアをストッパーに固定させる為、用水路の側溝の縁を足場に使いドアを固定させようとした時に足を踏み外してしまい、仰向けの状態で側溝に転倒し、背中や右肩を強打した。	48	~ 100 299
4	10~ 11	配送先で荷降し後、回収容器をトラックに運び、積み込み作業をしていた際に、容器が入った台車をホーム上でトラックコンテナ付近まで後ろ向きに引っばっていたところつまずいて、転倒して地面に落下し、右手をついた際に右手首を痛めてしまった。	49	~ 50 99
4	13~ 14	マンション2階のお客様宅へ配達に行った時、普段はエレベーターを使用するが急いでいたため階段で上がろうとした際、前方の確認不足により、階段の飛び出ている踊り場部分に激突し、頭部を裂傷した。	58	~ 50 99
4	11~ 12	倉庫ではしごを使用して、ラックの上の在庫を確認していたところ落下し、左後頭部と左胸を強打した。	50	~ 100 299
4	11~ 12	当社敷地内にある駐車場の屋根の点検修理のため屋根に上っていた時に、屋根の腐食した部分に足を乗せてしまい、体の重みで屋根が陥没し、そのまま下のコンクリート部に落下して左足踵部を骨折した。	43	~ 50 99
4	12~ 13	冷凍庫内から、冷蔵庫へ移動する為、平坦な歩行帯を前方を歩く従業員に続いて歩行していた。防熱扉を通過する際、前方を歩く従業員が被災者に気が付かず防熱扉を閉めようと、スイッチを押した為、左右から迫る防熱扉に挟まれないように右腕で抑えようとした。安全装置が作動して扉が止まったが、右上肢打撲傷を負った。	28	~ 50 99
4	17~ 18	和タンスを吊り作業中、タンスを手元まで引き上げ横のベルトをつかみ持ちあげ直す際、タンスが上がり切らず、もう一度持ち直しの時柵に体を預けた際、柵が外れ柵ごと落下する。	21	~ 30 49

4	23～ 24	自社構内ホーム上で、伝票と荷物を確認中に誤って足を滑らせホーム下に転落し、左肩を打って痛みがあったがそのまま仕事をし、その後も痛みが治まらなかった。	59	50 ～ 99
4	2～3	工場サイロ内にてチップ積込作業中に、足元のチップに滑り、サイロ床で強く尻もちをつき骨折する。	49	30 ～ 49
4	23～ 24	運行乗務員が支店ホーム上を歩行中、ホーム端から足を踏み外してホーム下に落下した。	55	100 ～ 299
4	18～ 19	配達時、アパートへ駐車して2階の配達先へ向かう途中、左腕で荷物を持ったまま段差につまずき、右腕からアパート階段入口へぶつかり右腕を負傷した。	48	30 ～ 49
4	16～ 17	当社倉庫内において、飼料袋（500kg）をフォークリフトで車に積む作業中、倉庫内の横棧上に載って積込の補助をしていた時、横棧から当該袋の上に飛び降りた際（高さ約1m）にバランスを崩し、パレット上に落下して（高さ約1m）、背骨を負傷した。	42	10 ～ 29
4	4～5	卸ろし先にて手掴みで1ケースの荷物をトラック庫内からホームへ卸す際、段差を踏み外し左足首を捻り負傷した。	35	100 ～ 299
5	13～ 14	荷物の配送後に車両に戻る際、玄関先にて足を踏み外し転倒しかけたとき、側にいた人に支えられて倒れなかったが、足に痛みを感じた。	50	30 ～ 49
5	12～ 13	被災労働者は、配達先センターで積み込み作業が完了したため、プラットフォームから地面に移動しようとし、地上差1.2mの高さから前方に飛び降りて左足を負傷した。	59	50 ～ 99
5	18～ 19	マンションへの配達を終え、マンションエントランスより歩道に出る階段を上り、歩道を数歩歩いていたところ、左足を捻ってしまった。	30	10 ～

				29
5	9~ 10	15tユニック車にて製品7本を納入する際、ベースの上へ2本降ろしてから続けて3本目を降ろすとき、製品天端部分に乗りラジコンを操作しながら降ろしていたところ、蓋掛かり部分から足を踏み外して落下した。	49	1~ 9
5	12~ 13	トラックの荷台から降りる際に駐車場の輪留めの上に乗る、足を捻り負傷した。	50	100 ~ 299
5	10~ 11	路面の段差に敷いてあった雨に濡れた鉄板の上を走り、足が滑って転倒した。	36	50 ~ 99
5	4~5	配送を終え、センターへ帰社途中、運転中に居眠りか脇見運転により住宅石柱に追突し、ハンドルを取られ道路反対側の住宅ブロック塀に衝突してトラックが停止した。	26	30 ~ 49
5	16~ 17	引越作業中、窓の掃き出しから後ろ向きに降りた際、右足で安全靴を踏んだことでバランスを崩して転倒した。その際、右手を地面について親指を骨折した。	39	30 ~ 49
6	9~ 10	配送先の荷おろし後、一旦、車を移動し、屋内で少し作業をし、外に出て車に乗るため、プラットホームに右手をついて降りようとした時、手が滑って左半身から下に落下し、左大腿骨を骨折した。プラットホームの高さは1mで、建物の脇側には上り下り用の階段があったが使用しなかった。	57	50 ~ 99
6	14~ 15	荷卸し先の積み卸しを行うスペースにトラックを前進で停車し、トラック後方に積んだ荷物を下ろす作業に取り掛かった。2段積みの上段の荷物をフォークマンに取ってもらい、次の荷物を下ろす為、荷崩れ防止の為に取り付けられたラップを外そうとバースを横伝いに移動した。左側（トラック後方）に進んだところ、足場がなくなっていることに気づかず、足を踏み外して転落した。その際、足場に体の右側をぶつけ負傷した。	44	30 ~ 49
	23~	納品先にて、入口シャッターを上げたが何度も下がってくる為、上げ下げを5回程		50

6	24	繰り返した際、右肘に痛みがはしり、数日様子を見たが、痛みが引かなかった。	48	～ 99
6	10～ 11	アパートから歩道に出た時に、溝に足をとられて転倒し、顔を損傷してしまう。集配中だったが荷物は持っておらず、安全確認を怠り、慌てて走った為に発生したと考えられる。	43	10 ～ 29
6	10～ 11	派遣先構内にて、故障中のシャッターを業者が修理中に、絡まったチェーンが解け、急にシャッターが下がってしまった。その際、シャッターがロールボックスに当たった後、更に下がり、偶然通り掛かった被災者の頭部に当たった。病院で診断した結果、頭部打撲の診断となる。	74	50 ～ 99
6	14～ 15	H棟のコンテナから飛び降りた際に、着地先に駐車場のタイヤ止めがあり、それを踏みつける形で着地し、足首を捻った。	24	30 ～ 49
6	11～ 12	クレーン車庫で16tクレーンを納車している時、雨が降ってきたため急いで屋内に戻ろうとし、高さ1.6mあるクレーンハウスから梯子を使わず飛び降りた際、右足のくるぶし下を負傷した。	59	30 ～ 49
6	14～ 15	ホームからトラックの荷台に乗り込む際、隙間に足を落とし負傷した。	37	100 ～ 299
6	22～ 23	運行者が休憩のためにパーキングに入り、大型車の駐車スペースの縦列の最後尾に停車し、下車後トイレに向かおうと足を踏み出したところ、車両とガードレールの間の側溝に片足がはまり、その拍子に上半身のバランスを崩し、ガードレールにそのままぶつかり、右ろっ骨を強打した。	52	100 ～ 299
7	13～14	トラックで納品の際、荷降しが、おわり荷台より降りる時バックヤードの段差にまずき、右足第5中足骨にひびが入った。	30	50 ～ 99
7	7～8	当社乗務員が、2トン車をホームに接車後、積込作業中、荷台上から手をついてホーム下に降りた際、うまく着地できず、右足のつま先が内側に向くような形にな	41	10 ～

		り、転倒。診断の結果、骨折となる。		29
7	12~13	作業所に向かう道中に、作業所近くの駐車場を横切り歩道に出ようと小走りで行った時、駐車場と歩道との境の段差で躓き転倒した。両手で受け身を取ったが右肘を地面に強打し骨折した。	32	10 ~ 29
7	3~4	工場内に荷物を搬入中、荷物の確認のためリフトから下りた際、周りが暗かったため、道路上にあった穴に気付かず、落下してしまった。	32	10 ~ 29
7	11~12	被災者がホーム上の清掃作業を終え鉄製の台車へ載せたゴミ袋を集積場へ運ぶため、ホーム端のスロープを降りるため後ろ向きに台車を引いていたところ、スロープ手前で足を踏み外し、ホーム下へ落下し受傷した。	50	50 ~ 99
7	3~4	顧客の工場内において荷物を下ろしていたところ、車両後部と着床バースとの隙間約15cmに左足を踏み外し落下、その際左足ふくらはぎ及び左膝を打撲したものである。	36	300 ~ 499
7	12~13	配達業務を終え車両に戻る際、同敷地内に隣接する住宅のベランダ（高さ約1.5m）に頭頂部を強打した。	36	50 ~ 99
9	15~16	物流倉庫にて、荷物のラップを巻いている時に、誤ってラップが切れてしまい2m下に落ちて負傷した。	50	30 ~ 49
9	13~14	敷地内にて荷降し作業中、荷台から降りたところに歩道との段差があり、不自然な着地となり右足小指あたりに激痛が走った、何とか歩行が出来たのでそのまま業務を遂行し、翌日も勤務したが痛みが酷くなる一方なので、その日の夕方に受診した。	43	100 ~ 299
9	8~9	当社乗務員がトラック荷台上での玉掛け終了後荷台から降車する際バランスを崩したため、仮設フェンスに足を掛けたところ仮設フェンスが崩れ落下時に右腕がフェンスのパイプに衝突し負傷したものである。	53	10 ~ 29
	17~	ディーラーにて車両引き取りの際、後部のナンバーステイが高所にあったため、取		10

9	18	り付けのため脚立を借りようと工場へ入った際に、足を滑らせピットへ落下し左わき腹を打ったものである。	73	～ 29
10	18～ 19	営業所内の整備工場のピット上に、車両を止め、点検を行っていた。被災時は18時頃であり、既に周囲は暗かった為、照明は点灯していた。作業が終わったので被災者は帰ろうとして照明を消したが、最後にタイヤの空気圧を確認しようと思い立ち、まず右後方のタイヤを押し、次に左後方のタイヤを押しそうとした際に、ピット上で作業していたことを失念し、深さ1.3m程のピット内に転落し、膝を強打した。	47	10 ～ 29
10	11～ 12	プラットホームにおいて、フレコンにひもをかける業務をしていた際に足を踏み外し、約1.3m下の地面に落下し、腰部を打撲する。	53	50 ～ 99
10	9～ 10	トラックに商品を積み込む作業を終え、接車バースの自動シャッターを降ろし、自分が接車バースから降りようとした際に、足を踏み外し落下。その際、右側から落下した為、右肘を強打する。	50	500 ～ 999
10	16～ 17	大型トラックで配送を終えて帰社し整備棟の前に停車。トラックより降りる際につまずいてよろけ、整備棟の鉄柱に側頭部を強打し、頭部骨折した。	45	50 ～ 99
10	8～9	店にて納品のためトラックを降りた際、段差があり誤って右足首を捻り負傷した。	30	30 ～ 49
10	17～ 18	荷物の積込中、工場内にて接車中トラックとプラットホームの間に1.5m転落して腰部と右足関節を捻挫した。すぐに救急車にて搬送された。	49	10 ～ 29
10	19～ 20	ホーム上にて作業が終わってトラックへ戻る際に小走りに戻り、ホームの手前50cm位の所つまずいてホーム下へ転落。転落する際に顔を守るため右手を付いたため負傷。	47	1～ 9
		空パレットを納品する前、パレットがずれていた為、パレットを直してトラック		30

10	5～6	の荷台からホームへ後ろ向きのまま移ろうと右足をホームにつけたところ、ホームの角で足が滑り、仰向けにホームへ転倒した。その際に右肘を強く打った。	37	～ 49
11	15～ 16	営業所構内においてトラックをホームへ接車した後、階段を上り、トラックの方に歩いていたところ、右足を踏み外しホーム下へ落下し右腕を骨折したものである。 (1m弱)	45	～ 99
11	15～ 16	新築住居の建築現場に、建築資材をトラックにて運び、荷降ろし終了後地面から露出していた排水パイプに気付かず、その上に右足を乗せてしまい、バランスを崩し、右足首を負傷した。	28	～ 29
11	11～ 12	狭い現場内で長尺ボードを納入の際、柱に右薬指を強打。少し痛みはあったが、作業に支障はなかった為、作業継続し、次の日も出勤。痛みがひどくなってきたので、その後自宅療養し、後日病院へ、骨折と診断される。	26	～ 49
11	11～ 12	歩道と建物入口の間に3～4cmの段差があることに気付かず、踏み外してしまい、右足を挫いてしまった。	31	～ 29
11	14～ 15	配送先店舗搬入口にトラックを止め車から降りて後の荷台に向かおうとしたところ、足元が30cm程高くなった段差があり、その段差に左足から上がろうとした時、バランスを崩し左足を思い切り捻ってしまう。	51	～ 99
11	11～ 12	トラックの荷物を積み、荷締めするのに荷物の上に上がる時に、バランスを崩したので下に飛び降りた時に負傷した。	45	～ 99
11	11～ 12	工場内でトラックへ弁当の積み込み作業中、仕分け室場内で弁当レーンの段差10cmに躓き転倒して左手関節、左下退部を強打して受傷する。	46	～ 299
11	18～ 19	宅配便の配達にて、お客様宅にお伺いした際ご不在で不在連絡票を投函する為にポストを探し家の裏側に回ろうとしたところ、道が無く、高さ5mの位置より下の川に落下し、腰、背中を損傷した。事故発生時間帯は薄暗い状況であり、周囲、足元の確認を怠ったことが原因である。	33	～ 49

12	8~9	本社駐車場にて、運行前のトラックおよび設備の日常点検を行っていた。荷台の設置点検が終わったので降りようと、いつもの様に高さ1m程の荷台から飛び降りたところ、着地の際に腰に衝撃がはしり負傷した。	43	30 ~ 49
12	22~23	冷蔵倉庫コンテナ降しホームにて、大型車に保管していたコンテナをホームに降ろす作業を行い、完了後に車両を移動しようとした際（推測）、高さ1mのホーム下へ転落し、救急搬送された。	55	100 ~ 299
12	16~17	当社車庫において、年末最後の車庫および近辺の大掃除に従業員全員で行っていた。隣接する道路脇でトラック走行の邪魔になっていた木の枝を切ろうとして、2人で1.5m程の高さがあるコンクリートの石垣に上がった。枝の端をつかもう少し跳んだところ、誤って下に落ち、左足を負傷した。	31	1~ 9
12	19~20	集配中、客宅に荷物を持っていこうとした際、駐車場の車止めに足を引っかけて転倒し、右肩部を強打した。	33	10 ~ 29
12	17~18	マンションへ配達に向かった際、入口前のチェーンを飛び越えようとして、誤って足を引っ掛けてしまい負傷した。	34	50 ~ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html